

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日			記入者	内線 3812
部 名	消防本部	課 名	警防課	課長名	前田清治
事務事業名	常備消防活動事業(救助活動事業)				
予算上の事務事業名	常備消防活動費(救助活動費)				
1 総合計画における位置づけ				施策コード	23130
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防組織法・消防法・救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令・救助活動に関する基準				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	対策 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
複雑多様化する災害現場に即応できる、高度な救助技術の習得と救助資機材の整備を図る。				災害現場で救助を求めている人	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1 平成16年中の救助活動状況 出場件数:507件 救助人員:251人					
2 各救助大会への参加(救助技術の向上と練磨、研さんを図る)					
(1) 5月19日 県央都市消防救助技術交換会へ7種目49名出場(5種目入賞)					
(2) 6月10日 神奈川県下消防救助技術指導会へ13種目59名出場(2種目入賞)					
(3) 7月16日 消防救助技術関東地区指導会へ5種目14名出場(4種目入賞)					
(4) 8月26日 全国消防救助技術大会へ2種目7名出場(2種目入賞)					
3 救助活動に必要な消耗品の購入(各種救助資機材の消耗品及					
6 関連・類似事業や他市の状況	他自治体も同様な目的で、各救助大会への参加、救助活動に必要な消耗品の購入、救助資機材の点検整備等を実施している。				
7 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	6,840	6,847	6,673	9,274	9,000
一般財源	6,840	6,847	6,673	9,274	9,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	16,780	16,020	16,140	16,140	16,140
事業コスト合計(a)	23,620	22,867	22,813	25,414	25,140
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	救助活動事業			対象名称(単位)	救助出場件数(件)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	23,620	22,867	22,813	25,414	25,140
対象数	533	515	507	518	518
単位あたり経費(円)	44,315	44,402	44,996	49,062	48,533
前年度比		1.00	1.01	1.09	0.99

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	救助技術の向上（種目） (救助大会入賞種目数)		指標式と指標の説明	救助大会で入賞した種目数 / 出場種目数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	19.0	16.0	13.0			
目標	29.0	29.0	27.0	28.0	28.0	
目標達成度	0.66	0.55	0.48			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	救助実績（人）		指標式と指標の説明	救助した人数 / 救助を求めている人数 * 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	198.0	212.0	251.0			
目標	198.0	212.0	251.0	220.0	220.0	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 消防事務の特性から民間を活用することは困難である。複雑多様化する救助事象に対応するため、新たな救助技術の研究や、救助事故想定訓練の実施を図る。			14 課題として認識されたこと 新たな救助資機材の導入、訓練資機材・施設の整備等			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
			消防力整備計画の見直しを図る。			